

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果について

令和元年 9 月 25 日
枚方市立交北小学校

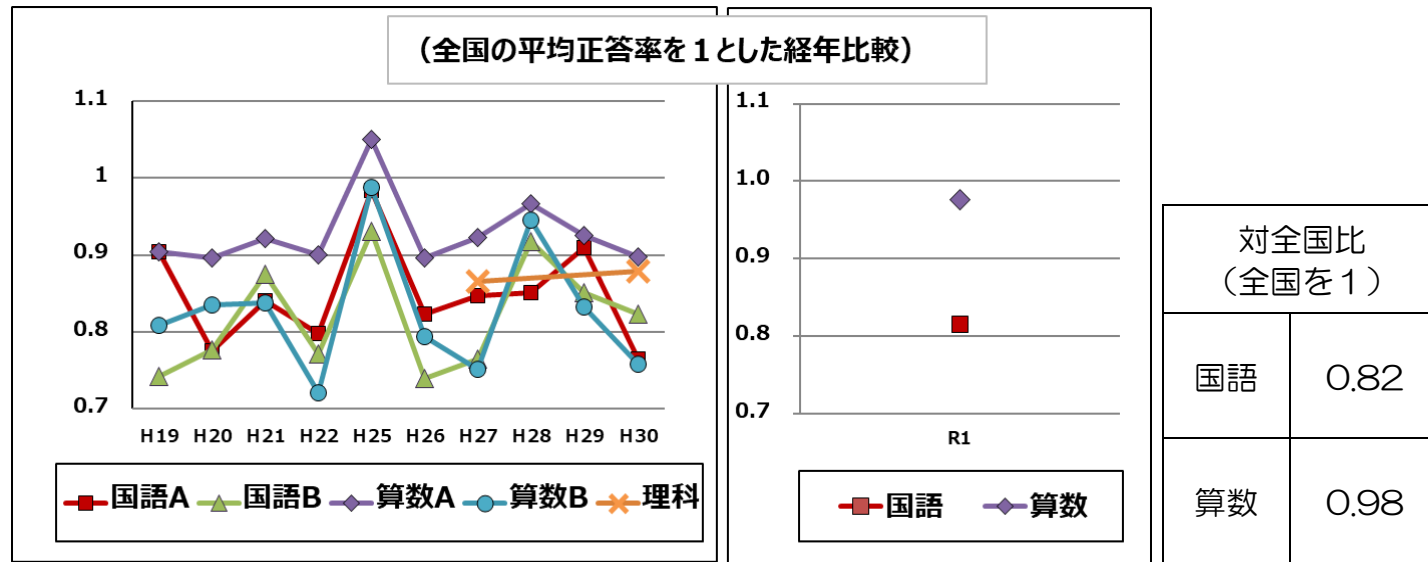
文部科学省が今年 4 月に実施した、平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等によって、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

【全体概要】

※調査結果について
教科や出題範囲が限られていることから、
全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部です。

学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較（対全国比）をお知らせします。
（※今年度より、A・B問題が一体化されましたので、グラフを分けています。）



<学力調査結果の概要>

○国語について

→平均正答率は、全国平均より下回っていました。特に話すこと・聞くことに課題があります。話し手の意図をとらえながら話を聞き、相手の意図にそって自分の考えを書くことが苦手な児童が多くみられました。しかし、話すこと、書くことに関しては昨年に比べて上昇傾向にあります。調べて自分の意見を書くことはある程度できていました。

○算数について

→平均正答率は、全国平均とほぼ同じで、全国学力学習状況調査が始まって、平成 25 年に次ぐ成績となっています。図形においては図形の性質や移動を理解し、面積を計算できていました。グラフにおいても意味を理解し、グラフの比較により量について考えることもできました。しかし、記述問題や説明する問題については全く理解できていないわけではありませんが、それを論理的に説明する力に大きな課題があると思われます。

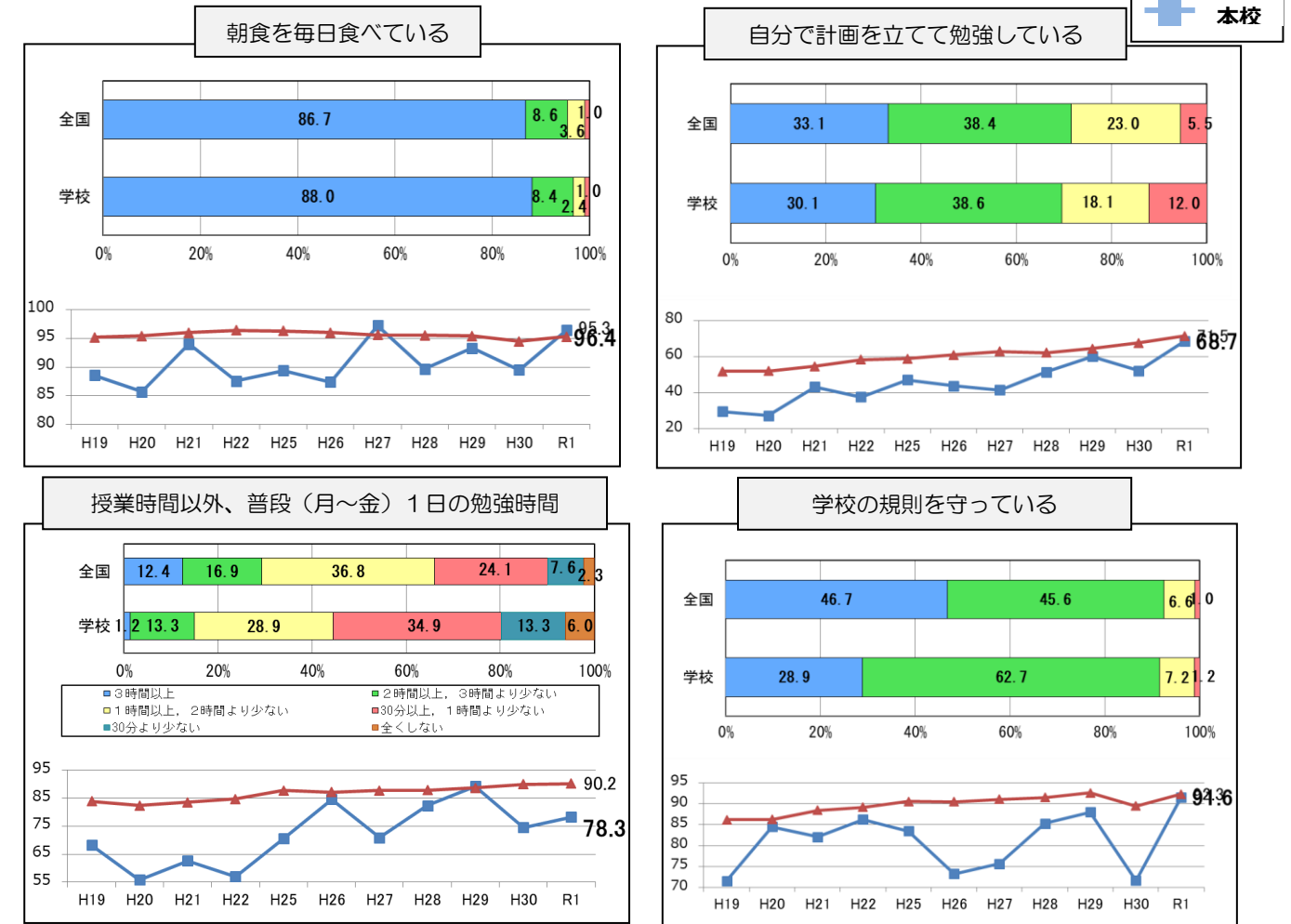
※本調査は、平成 19 年度から実施されています。

※平成 23 年度は中止（東日本大震災）、平成 24 年度は一部の学校を対象にした抽出調査のため、掲載していません。

質問紙調査の結果

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「あてはまらない」を示しています。
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は 100 にならない場合があります。

質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。



<質問紙調査結果の概要>

「朝食を毎朝食べている」肯定的回答が 96.4%と全国平均より高かったことはご家庭での規則正しい生活習慣が結果に表れたのではないかと非常に喜ばしく思っています。しかし、逆に言うと後の 3.6%の児童が朝食を食べていないこととなるので、啓発を怠らないようにしなければなりません。また、「学校の規則を守っている」も 91.6%で安心安全な学校生活が送れている事につながっています。「自分で学習計画を立てて勉強している」も 68.7%と全国平均に迫るものがありますが、1日の学習時間では6年生の学習時間は1～2時間が一般的なのに対し、本校の6年生は1時間以下の学習時間が中心となっていて、全国との差が大きいことが課題と言えます。

まとめ

昨年とは問題の形態が異なりますが、国語・算数とも昨年度より、上昇傾向が見られます。特に算数については、昨年度から取り組み始めた「協同学習」を今年度4月から6年生全クラスで取り組んでいて、その成果が全国学力学習状況調査の結果に表れました。しかし、国語には読解力・表現力に課題があります。これを克服するため、国語の時間はもちろんのこと図書の時間、読み聞かせ学習、絵本の広場などの取り組みを検証し、改善・充実させ、子ども達が自ら読書を楽しめるよう工夫してまいります。また、国語・算数ともに記述問題に課題があり、自分の考えを表現できる力をつけていく必要があります。学力向上委員会・校内研究推進部が連携し、主体的・対話的で深い学びを推進してまいります。

【成果】

目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く

1 高橋さんの学級では、生活の中で気になったことを調べ、友達に報告することにしました。高橋さんは、公衆電話について調べています。次は、高橋さんが書いてある「報告する文章」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告する文章】

1 公衆電話について

はじめに

先日外出したときに、家に電話をかけようと思った店に行くとき、あつたはずの公衆電話がなくなっていて、こまづてしまいました。また、よく行く公園の公衆電話も、いつの間にかなくなっていました。わたしは、公衆電話の数が減っているのではないかと、町の公衆電話の数を調べてみることにしました。それをまとめたものが「資料1」です。平成二十年度から二十九年度までの十年間で、約半分にまで減っていることがわかりました。そこで、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまうのかどうか調べてみることにしました。

2 調査の内容と結果

(1) 公衆電話はどのようなときに必要なのか

多くの人がけいたい電話を持っていて、公衆電話が必要とされているのかどうかを調べてみることにしました。そこで、地いきの人三十人を調査の「アたいしよ」として、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。その理由をまとめたものが「資料2」です。「けいたい電話をわすれたときに必要」「けいたい電話の電池が切れたときに必要」などの回答がありました。このことから、公衆電話は、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされているということがわかりました。

(2) 公衆電話にはどのような使い方ができるのか

公衆電話について書かれた資料を調べてみると、公衆電話には、次のような使い方がありました。

- ・警察署(110番)や消防署(119番)には、硬貨やテレホンカードがなくても通報することができます。
- ・停電のときでも、硬貨を使って通話することができます。
- ・電話が混み合っているときでも、優先的につながりやすい。

このように、公衆電話は、きん急のときにも使うことができるということがわかりました。

(3) 公衆電話はどのような場所にあるのか

公衆電話を必要とするときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思つたので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。実際に町を歩いてまとめたものが「資料3」です。

この資料から、公衆電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということがわかりました。

3 調査の結果をもとに考えたこと

調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなつてしまつたわけではないと考えました。「なぜなら、
また、公衆電話を使いたいときには、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかと、いうことも考えました。今回の調査を通して知つたことを、学級の友達に、いかにぎらず多くの友達に伝え、公衆電話について、うかんしんをもつてもらいたいと思います。」

三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の [] に「2 調査の内容と結果」の (1)と(2)で分かつたことをまとめて書いています。 [] に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 「報告する文章」にふさわしい表現で書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、四十字以上、七十字以内まとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※左の準備用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※の印から書きましょう。どちらでも行を突えなないで、続けて書きましょう。

調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなつてしまつたわけではないと考えました。

なぜなら、

70字

40字

【資料1】 公衆電話設置台数の移り変わり

年度	設置台数(台)
平成20年度	300
平成21年度	250
平成22年度	200
平成23年度	180
平成24年度	160
平成25年度	150
平成26年度	140
平成27年度	130
平成28年度	120
平成29年度	110

【資料2】 公衆電話が必要な理由のまとめ(複数回答)

けいたい電話をわすれたときに必要	22人
けいたい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいたい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいたい電話の電波がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいたい電話や家の電話がつながりにくいときに必要	3人
その他	5人

【資料3】 公衆電話の設置場所を示した地図

1-三

	正答率	無解答率
本校	29.6	4.9
全国	28.8	3.8

(考察) 1-三

公衆電話の調査の内容と2種類の結果をもとに公衆電話が必要ないものになっていないと判断した理由の意見をまとめて記述する問題でした。2-(1)、2-(2)の2種類の文章を理解し、公衆電話は緊急時に携帯が使えない場合、必要となるなど、自分の考えの理由を明確に記述できた児童が3割いたことは交北小学校にとって大きな成果でした。

1-四(1)

	正答率	無解答率
本校	70.4	11.1
全国	69.4	12.1

1-四(1)イ

友達にかぎらず→限らず

漢字に直す問題では基本的な問題の正答率が高い。基本の漢字については間違わないという意識が高いと思われます。

夏季休業中の漢字検定には90名の参加者があったことから基本的な漢字を習得しようとする子どもたちの意識を感じることができました。

【課題】

話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる

「インタビューの様子」

岸さん 大谷さんが達人として紹介されている、町の広報紙の記事を読みました。今日は、大谷さんの仕事への思いや考えなどをお聞きしたいと思います。よろしくお願ひします。

大谷さん こちらこそ、よろしくお願ひします。

岸さん では、早速ですが、広報紙で大谷さんは、「私にとって、量はともみりよくてきなものです」とおっしゃっていましたが、どのようなところにみりよくがあると感われますか。

大谷さん 私の店の量について言えば、全て一点物だということです。私は、機械を使わずに、細部までくふうして一枚ずつ手作業で仕上げています。ですから、完成した量は同じように見えても、それぞれに個性があるのです。そこが私にとっての一番のみりよくですかね。

岸さん そうなのですね。それはつまり、

ア

大谷さん そうです。部屋の大きさに合わせたり、お客様の希望や要望に応えたりするのは、職人としての腕の見せどころですからね。

岸さん 職人としての腕をみがくために、どのようなことを親方から教わったのですか。

大谷さん 親方から直接教わったことはほとんどありません。では、どのようにして腕をみがいたのですか。

大谷さん 量を作る技術やお客様への接し方は、とにかく親方の仕事ぶりをよく見ていました。

岸さん 大谷さんは、親方の姿をよく見て技術や接し方を身につけたのですね。

大谷さん いやいや、見るだけでは身につけられません。「習うより慣れよ」ということわざにもあるとおり、実際に自分でやってみることを何度もくり返すのです。私はとても不器用なので大変さはありましたが、何とか親方のようになりたいと思ひながら、修業をしていました。

岸さん そのような思ひをもっていたのですね。大谷さんは、他に、どのような思ひや考えをもって、五十年間仕事を続けてきたのですか。

大谷さん 思ひや考えですか。なかなか難しい質問ですね。

岸さん すみません。では、五十年間仕事を続けてきた中で大切にできたことや心構えはありますか。

大谷さん そうですね。五十年も職人をしていいますが、いまだに完べきだと思える仕上がりはありません。だからこそ、自分が一人前になったと思わず、次こそはもっとよいものを作ろうと挑戦し続けるのです。これが、ずっと大切にしてきたことですかね。

岸さん お話を聞いて、大谷さんの仕事への思ひや考えが分かりました。特に、

イ

またぜひお話を聞かせてください。今日は本当にありがとうございました。

三 岸さんは、インタビューの最後に、大谷さんの仕事への思ひや考えに着目して、特に心に残ったことを伝えようとしています。「インタビューの様子」の **イ** に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

- 「インタビューの様子」の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。
- インタビューとしてふさわしい言葉づかいにすること。
- 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※左の専用紙は書き用紙なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※の印から書きましょう。どちらの行を定めないで、続けて書きましょう。

特	に	、																	
---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

60字

3-三

	正答率	無解答率
本校	42.0	40.7
全国	68.2	14.2

（考察）3-三

「インタビューの様子」で最後に心に残ったことを伝える問題で、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる問題でした。正答率が42.0で無解答率が40.7と非常に高く、「大谷さんの発言から言葉や文を取り上げて書く」という条件をインタビュー全体の広い範囲ととらえ、どのように答えていくべきなのかを見失った人が多かったように思えます。ヒントは大谷さんのインタビューの最後の言葉の中にあることに気づいた人は答えられていました。問題文を確実に読み取ることを大事にしてください。

3-四

	正答率	無解答率
本校	50.6	33.3
全国	73.0	7.9

3-四

「習うより慣れよ」のことわざがどんな時に使用されるのか、ことわざの意味を理解して、自分で活用できるかが問われる問題でした。選択問題であるにもかかわらず、無解答が多かったのが気になります。ポイントは「人に教わるのではなく自分でやってみる」です。ことわざの意味をしっかりと理解する事に心がけましょう。

<算数>

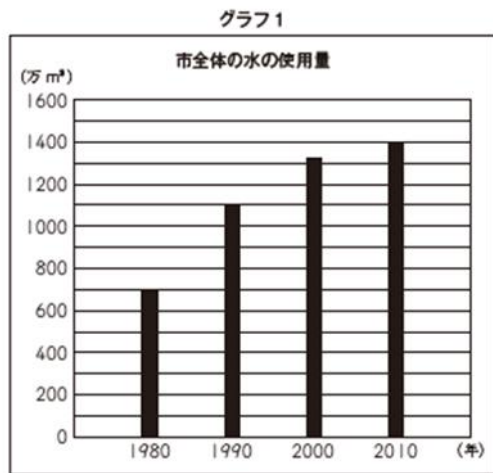
成果や課題があった設問

【成果】

棒グラフから情報を読み取る

2

かいとさんたちは、水を大切に使用しているかどうかを知りたいと思い、まず、自分たちの住んでいる市では、水をどのくらい使っているのかを調べています。かいとさんは、グラフ1を見つけました。



(2) グラフ1の、2010年の市全体の水の使用量は、1980年の市全体の水の使用量の約何倍ですか。答えを書きましょう。

2-2	正答率	無解答率
本校	82.7	1.2
全国	78.6	1.0

(考察)

2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍かを読み取る問題で、棒グラフに表されている年と水の使用量の関係(特徴や傾向)が正確に読み取ることができています。

2-1の正答率も95.1%であることより、グラフの基礎基本についてはほとんどの児童が理解できていました。

3-1	正答率	無解答率
本校	87.7	1.2
全国	81.8	0.9

3-3

3-3	正答率	無解答率
本校	77.8	3.7
全国	74.9	2.1

(考察)

3-1(3)とも計算の仕方が示されていて、計算方法を理解し、引く数、かける数、割る数を自分で選び、式が成り立つようにすべての数に同じ数を引いたり、同じ数でかけたり、割ったりしても式が成立することを利用した問題でした。多くの児童が計算の仕方を理解し、正確に計算できていました。

【課題】

図形の面積の求め方を説明(記述)できる

(3) ゆうたさんたちは、2つの合同な台形で作られた図1の形の面積を求めようとしています。

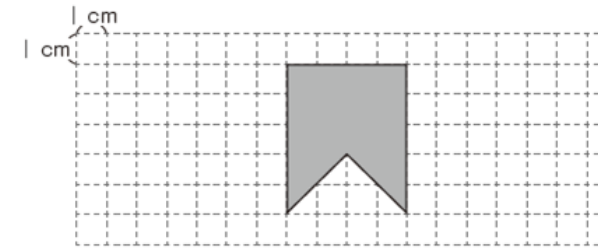


図1

【ちひろさんの求め方】

$$5 \times 4 = 20$$

$$4 \times 2 \div 2 = 4$$

$$\underline{20 - 4} = 16 \quad \text{答え } 16 \text{ cm}^2$$

【ちひろさんの求め方】の中の「 $20 - 4$ 」は、どのようなことを表していますか。「20」と「4」がどのような図形の面積を表しているのかわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。

2-2	正答率	無解答率
本校	39.5	7.4
全国	43.9	6.7

(考察)

二つの合同な台形で作られた形(左図)の面積の求め方を説明(記述)する問題でした。ちひろさんはたて5 cm、横4 cmの長方形から底辺4 cm高さ2 cmの三角形を引くことで面積を求めています。つまり20は長方形の面積、4は三角形の面積を表していることとなります。内容が理解できているにもかかわらず記述説明とできない児童が多くいるのが現状であります。

【成果】

示された計算の仕方が理解できる

(3) 【ことねさんの計算の仕方】をもとに、 $600 \div 15$ について考えます。

$$600 \div 15 = \square$$

\downarrow ①
 $\square \div \square = \square$

\downarrow ②
 $\square \div \square = \square$

変わらない

だから、 $600 \div 15$ の答えの \square は、 \square です。

上の①にあてはまるものを、下の「 \square 」の中から1つ選び、また、上の②にあてはまるものを、下の「 \square 」の中から1つ選んで、それぞれ書きましょう。

ただし、それぞれ、どれを選んでかまいません。

① $\square \times 2, \square \div 3, \square \div 5$ ② $\square \times 2, \square \div 3, \square \div 5$

さらに、上の①、②、③、④に入る数を書きましょう。

【課題】

示された計算の仕方、除法に関して成り立つ性質を説明できる

【ゆいなさんがまとめたこと】

ひき算では、
 ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、
 ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、
 差は変わりません。
 このことを使うと、計算しやすいひき算の式で考えることができます。

(2) ひき算について書かれた【ゆいなさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまとめると、どのようになりますか。

下の「 \square 」の中に、「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って書きましょう。

わり算では、

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

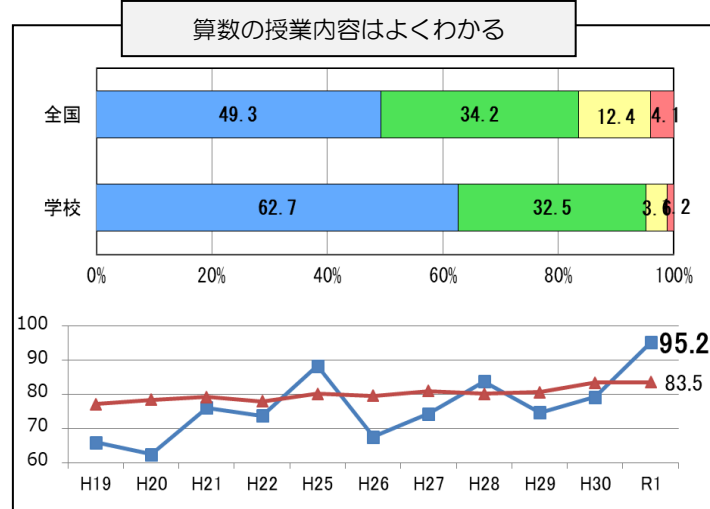
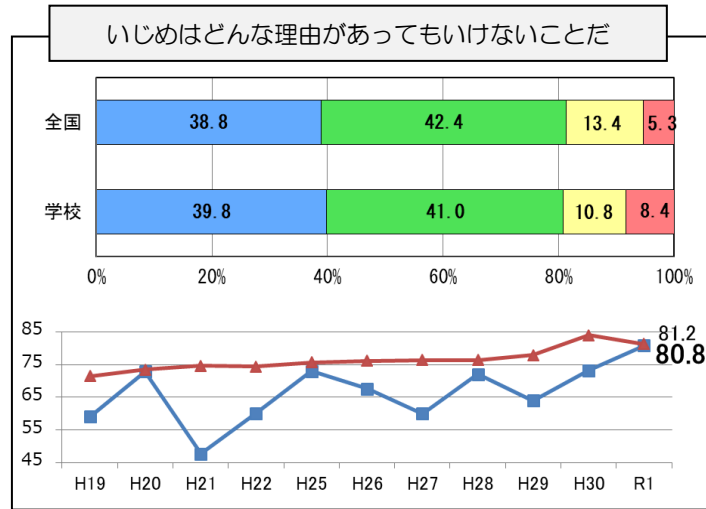
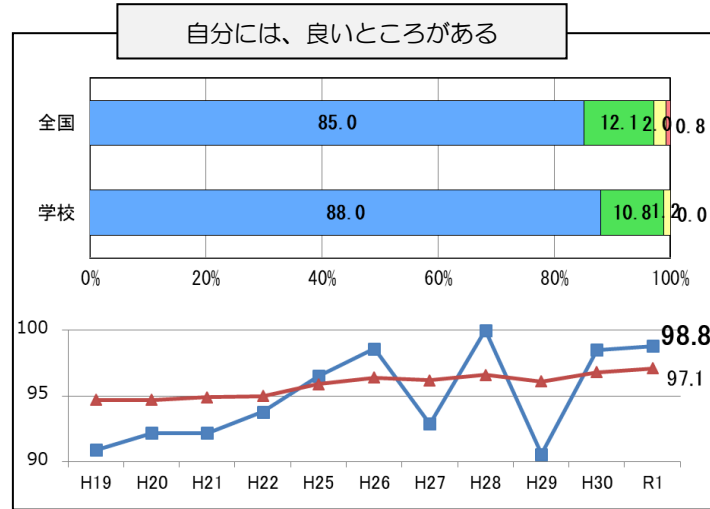
3-2	正答率	無解答率
本校	21.0	12.3
全国	31.1	10.8

(考察) ひき算について【ゆいなさんがまとめたこと】を参考にしながら、ことねさんが、かけ算・わり算についてまとめる問題でした。かけ算やわり算についても同じような計算の仕方ができる(3-1(3)で示された計算の仕方)で計算できているので、ポイントは【ゆいなさんがまとめたこと】の3行を利用することで「わられる数とわる数に同じ数をかけても、わられる数とわる数に同じ数でわっても商は変わりません」が解答でした。計算ができているだけに残念でした。

質問紙に関する調査

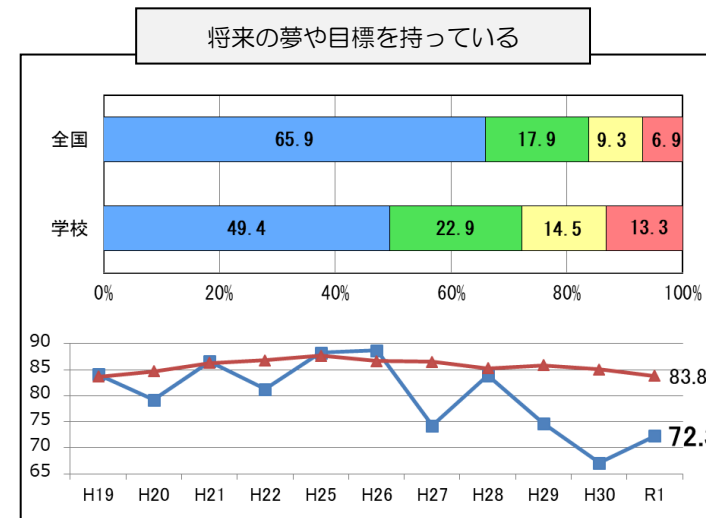
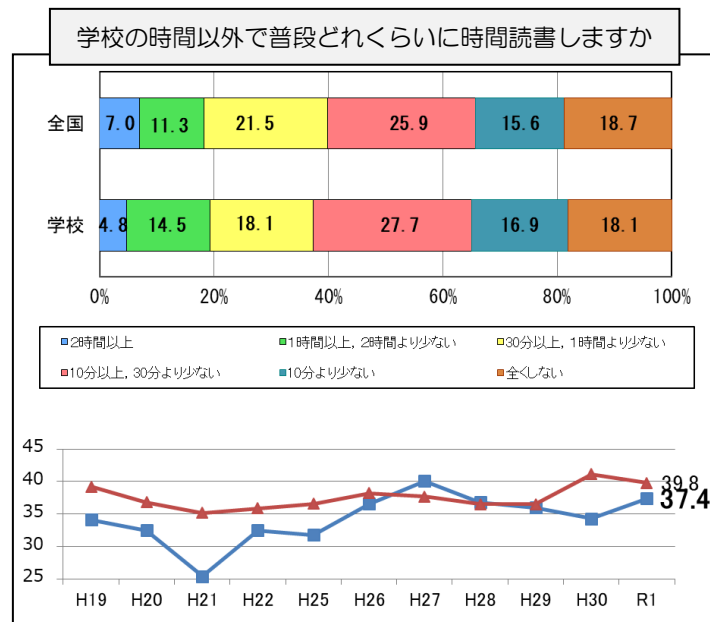
※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「あてはまらない」を示しています。
 ※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
 ※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

【成果のあった項目】

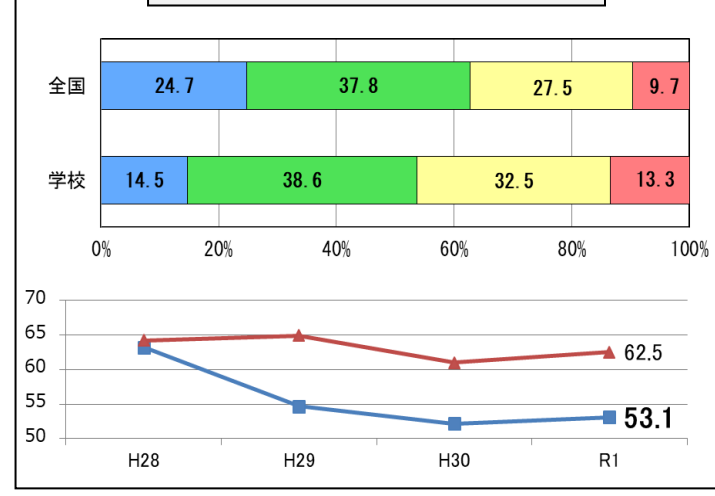


（考察）
 「自分には良いところがある」は 98.8%と非常に高い結果でした。自尊感情の育成は成長期の子どもにとって大切な要因です。そのため本校では「ほめて育てる」教育方針をとっています。今後も授業や行事、クラス活動の中で達成感や成就感を体験する取組みを行っていきます。
 「算数の授業内容はよくわかる」は 95.2%は全国平均を10ポイント以上超えている。全体概要のまとめでも記述したように「協同学習」の成果である。教員も研究を重ねながら「子ども達同士の学習活動」をさらに充実していきます。
 「いじめ」についても子どもたちの意識が非常に高く、学校のきまりについてもよく守っている事より、安全安心な学校生活が送れるように学校も努力してまいります。

【課題が残った項目】



自分の考えが伝わるよう、資料や文章、話の組み立てを工夫して発表している



（考察）
 読書の時間が1日に30分以下の人が70%近くいることが残念でした。国語の読解力や思考力は読書の量と相乗効果があります。日頃から本に親しむ事が大切です。学校では図書の時間の他に朝の読書・「絵本の読み聞かせ」（全クラス）や「絵本の広場」をボランティアの方に来ていただいて実施して本に親しむ時間を設けている。
 「将来の目標を持っている」は72.3%と全国より9ポイント低い結果でした。夢や目標を持つて努力することが大切で、夢が叶えば充実感を得ることができ、例え叶わなくともその努力した経験は自分の力になります。
 自分の考えが伝わるよう文章の組み立てを工夫し発表している児童が53.1%で全国より10ポイント低い結果でした。学力調査問題の中にも自分の考えをまとめる問題がありました。力をつけるには授業中に自分の考えを組み立てる機会が必要と考えています。

分析結果を踏まえて今年度中に取り組んでいくこと

（1）授業改善について

- ・協同学習・算数（子どもたちの活動を中心とした学習）の授業研究
- ・協同学習を全学年で実施し、授業観察を行い、研修の中で検討し、授業改善に繋げる
- ・子どもの「主体的・対話的で深い学び」のある授業に向けての取組み
 - ・子どもが主体的に自分で考え、子ども達同士（グループ学習・ペア学習）、教員との対話の中で深め合える授業を創る
- ・教員同士の授業観察（相互参観）を毎学期（年間3回）実施し、授業改善を図る
- ・書く力の育成のための「ノート指導」と振り返りの時間の充実
- ・タブレット・書画カメラ・PCなどのICTの活用でわかりやすい授業をめざす

（2）学習規律について

- ・教室のユニバーサルデザインと環境整備
 - （全クラス、児童椅子の足にテニスボールを設置）
 - 教室の床の保全・スムーズな椅子移動と雑音防止
 - （教室掲示物の配置・板書の方法・協同学習時の授業の流れ）
- ・「Hirakata 授業スタンダード」を学校全体で取り組む
- ・チャイムで始まり、チャイムで終わる授業の徹底
- ・「ノートの書き方」指導の充実

（3）家庭学習・読書活動について

- ・家庭学習カードを使って自学自習の取組み
- ・自学自習の掲示により、個々の児童の達成感と啓発を促し、学習意欲を高める
- ・読書月間や絵本の広場を利用し、家庭で読書する時間を増やす
- ・図書委員会活動による読み聞かせや図書カードの活用、読書冊数の表彰などで意識の向上を図っている

保護者の方へのお願い
 家庭学習や読書は、ご家庭のご協力が不可欠です。「早寝早起き朝ごはん」の規則正しい生活とご家庭での読み聞かせ（特に低学年）のご協力をお願いいたします。また、お子様が頑張った時には大いに褒めてあげてください！